

科目名	教職概論 Introduction to Teaching Profession						
科目担当者	小野 創太 ONO Sota						
単位数	2	配当年次	1 年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科〔専門教育科目 自由科目〕 経営学部・経営学科〔専門教育科目 自由科目〕					ディプロマポリシーとの関連	(4) (6)
授業の概要	教職とは何か、教師になるということが具体的にどのようなことかについて、歴史や思想、制度、法規などの観点から分析・考察する。教師が持つべき専門性を具体的に考えることで、教育現場における実践的指導力の基盤となる講義とする。将来的に教員という職業選択を想定できるよう、職務内容・義務・身分保障等に対する理解も深める。						
授業の到達目標	①教職が持つべき専門性について、歴史や思想、制度、法規など様々な観点から深く理解する。 ②具体的な教師の職務を想定しながら、教育現場における実践・指導にどのように専門性を活用できるかについて意識できるようになる。 ③将来的な職業選択に資するよう、教員の身分や服務に対する理解を深める。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション					
	2	理想の教師像，教師に対する社会の眼差し					
	3	教員養成の歴史的変遷					
	4	教員の任用と服務					
	5	教師の役割と仕事					
	6	教員の身分保障と関係法規					
	7	教師の専門性開発と研修					
	8	地方教育行政の組織及び運営に関する法規					
	9	いじめ問題に対する対応					
	10	学校と関係諸機関との連携					
	11	子どもの多様性と学校・学級経営					
	12	学校教育の情報化に対する対応					
	13	教職への進路選択と教員採用					
	14	学校教育の今日的課題の検討					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	講義内容については予習を行うこと。「その他」欄に記入した漢字ドリルについては、講義期間内の提出を求める（毎週 2 時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	講義後に課す小レポート（各講義内容について確認するもの）を提出し、講義内容の復習を行う（毎週 2 時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法 小レポート等の課題 受講態度・授業への姿勢 学期末レポート ※評価方法については、オリエンテーション時に協議することを予定している。					評価比率 30% 20% 50%	到達目標との対応 ①②③ ①②③ ①②③
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	各講義において、資料を配布する。						
参考文献	主な参考文献として、『教職概論 第 6 次改訂版』（学陽書房），『ワークで学ぶ教職概論』（ナカニシヤ出版）を取り上げる。他は講義中に適宜紹介する。						
その他	『小学国語 漢字の正しい書き方ドリル 1 年』（旺文社） 『小学国語 漢字の正しい書き方ドリル 2 年』（旺文社）を購入すること。使用法等については別途指示する。						